



2020年11月13日

各 位

会 社 名 不二精機株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 伊井 剛  
 (JASDAQ コード番号 6400)  
 問合せ先 専務取締役 山本幸司  
 (TEL. 06 - 7166 - 6822)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

2020年8月7日付で公表いたしました2020年12月期の連結通期業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)の修正について、下記のとおりお知らせいたします。

記

2020年12月期連結通期業績予想の修正

(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	6,488	259	129	65	8.24
増 減 額 (B-A)	—	—	—	—	—
増 減 率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前 期 実 績 (2019年12月期)	6,592	387	342	289	37.32

### <修正理由>

売上高については、精密金型事業において、注射器などの医療用関連を中心とした個別受注生産である当事業の未検収の受注残高は高水準で推移しており、各工場の稼働率は高い状態ですが、新型コロナウイルスの影響で顧客との間の検収手続き（精密金型事業では顧客に検収いただいた時点で売上を計上しております）に遅れが発生した影響が残り、2月14日付で公表しました当初予想を123百万円(4.0%)下回る見込みであります。精密成形品事業においても、新型コロナウイルスの影響で東南アジアを中心に主要顧客の操業度の関係で自動車関連部品の出荷が5月から8月にかけて大幅に減少したこと(9月以降は順次回復しておりますが、当該子会社の決算期が9月であるため、9月以降の回復の当期の売上高への影響は限定的であります)などにより、当初予想を836百万円(19.0%)下回る見込みであります。

営業利益については、主として精密成形品事業の売上高が当初予想を下回り稼働率が低下したことなどにより、当初予想を166百万円(39.1%)下回る見込みであります。

経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益については、インドネシアルピアの通貨安による子会社での外貨建て債務の評価替え(資金への影響はありません)などによる為替差損84百万円を営業外費用に計上することを予想していることなどにより、経常利益の当初予想を256百万円(66.5%)、親会社株主に帰属する当期純利益の当初予想を272百万円(80.7%)、それぞれ下回る見込みであります。

なお、上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は業況の変化などによって予想数値と異なる場合があります。

以 上